

種類別明細書(増加資産・全資産用)

記入例

所有者名
日田 太郎

1 枚のうち
1 枚目

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率 ⁽¹⁷⁾	価額	※ 課税標準の特例		課税標準額	増加理由	摘要
					年号	年	月					率	コード			
01	1		太陽光発電設備A アスファルト舗装工事費	1	4	2	7	0	8	400 000	1	0.			1・2 3・4	平成28年度申告漏れ
02	1		太陽光発電設備A フェンス設置費	1	1	2	7	0	8	500 000	1	0.			1・2 3・4	平成28年度申告漏れ
03	2		太陽光発電設備A	1	1	2	7	0	8	8 000 000	1	7			1・2 3・4	平成28年度申告漏れ
04	1		太陽光発電設備B アスファルト舗装工事費	1	1	2	9	1	0	200 000	1	0.			1・2 3・4	平成30年度申告漏れ
05	1		太陽光発電設備B フェンス設置費	1	1	2	9	1	0	200 000	1	0.			1・2 3・4	平成30年度申告漏れ
06	2		太陽光発電設備B	1	1	2	9	1	0	3 000 000	1	7			1・2 3・4	平成30年度申告漏れ
07															1・2 3・4	
08															1・2 3・4	
09															1・2 3・4	
10	<div data-bbox="123 821 1456 1117" data-label="Text"> <p>償却資産申告書(償却資産課税台帳)の書き方(記入例)</p> <p>【太陽光発電設備を平成27年8月と平成29年10月に取得した場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備の取得価格:800,000円と3,000,000円(資産の種類:2 機械及び装置、耐用年数:17年) ・アスファルト舗装工事費:400,000円、200,000円(資産の種類:1 構築物、耐用年数:10年) ・フェンス設置費:500,000円、200,000円(資産の種類:1 構築物、耐用年数:10年) ・再生可能エネルギー発電設備に関する課税標準の特例あり </div>															
11																
12																
13																
14																
15															1・2 3・4	
16															1・2 3・4	
17															1・2 3・4	
18															1・2 3・4	
19															1・2 3・4	
20															1・2 3・4	
				小計				12 300 000								

【注意】
過年度分の申告漏れがあった場合は、このように記入してください。

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他 のいずれかに○印を付けてください。

第二十六号様式別表一 (提出用)